



教室日記<こころの天気図>発行・音田輝元

「むずかしいことはやさしく。

やさしいことはふかく。

ふかいことはおもしろく」 (井上ひさし)

■今年度も、<たのしい出会い>になりました！

4月15日(月)は、<SA・子ども教室研究科>オリエンテーション。一年間の始まり、初めての出会い……。朝から、どきどき、わくわくのスタートでした。

森田さん(CD)の挨拶と運営予定表にそって、私の(音田)実験からオリエンテーションの始まりです。今年は、パワーポイントを使い<名刺>を渡しながら自己紹介から始め、その後は、いつものように<ブタンガス>の実験です。

【問題1】ガスライターをつめかえ容器の中に<ブタンガス>が入っています。この<ブタンガス>の液体を試験管の中に入れて、ガラス管を通したゴムせんで、図のように試験管の先をとめることにします。そこで、今度はマッチに火をつけて、そのマッチをガラス管の先に近づけていきます。すると、どんなことがおこるでしょうか。

予想 ア・なにも起こらない。

イ・小さな火がつく。

ウ・マッチの火が消える。

エ・バーンと音をたててバクハツする。

★みんなの予想を出してから実験してみましょう。

\*

「この一問だけではおもしろくありませんね。そこで、もう一問！今度は、黒板を見ながら予想をたててみましょう。あなたの予想は当たりますか？」



●一口レポートより

★新メンバーでの最初の1日。楽しいことがいっぱいありそうな予感がします。

★最初からびっくり、楽しい授業。★音田先生の出会いの授業、お楽しみゲーム。楽しい授業でした。★とても楽しい教室、うれしいです。よろしく願います。

★聖徳太子と闘茶、楽しい授業でした。カリキュラムのご苦労が伝わってきました。今年も楽し

みです。★今年もよろしく願います。楽しく学びたいと思います。

\*\*\*

●今回は、「ブタンガス」と「2つのお楽しみゲーム」をしましたが、そのミニゲームとは、「聖徳太子は10人の話が同時に聞けるか」と「闘茶・利き茶ゲーム」の二つ。二宮聡介さんのプランをもとに、パワーポイントに編集してたのしんでもらいました。

授業後、「この授業のオチ（まとめ）はなんですか？」と質問がありましたが、「今のところ楽しむだけで＜オチ＞ありません。ぜひ素敵なくオチ＞を考えて教えてください。よろしくお願いします」。

★例えば、・・・同時に聞けるなんて不可能。話は1人ひとり丁寧に聞くことが基本。

★人間の味覚は不思議です。信用できないことも多々。しかし、「最後の決め手は人間の味覚！」だから、たのしい。・・・などなどがありますが、「お楽しみゲームですから、＜オチ＞を体験者に投げかけるという＜オチ＞が一番良い！」のかもしれませんが。

\*\*\*

#### ■地域での＜科学の出前授業＞・・・何度やってもたのしい！

4月13日（土）吹田市で、＜吹田子ども科学実験教室＞がありました。（5月以降は第四土曜日）＜子ども教室研究科＞から、「佐藤CDと、加藤さん上島さん」に授業アシスタントとして一緒に授業していただきました。



★＜ブタン＞と＜ころりん＞で実験。 ★人気のスライム作りとすっ飛びストロー。

●子ども達の真剣な眼差し、元気な発言、ちょっと恥ずかしそうな意見、そして、笑い、歓声・・・。いつもながら、子ども達との楽しい時間を共有させてもらい、ありがとうございました。ちょうど、佐藤の前におられた家族は、お母さんと二人のハーフの娘さんでした。妹はお母さんに甘えながらも、自分の意見をを通して、おねえちゃんとは違う回答を盛んにして、答えが合うととってもはしゃいでいましたし・・・お姉ちゃんも、帰ったら、ダデーに教えるんだと言って・・・家族で、楽しんでいてくれました。（佐藤和次）

●子ども達相手の授業は、何度やっても楽しいですね。本当に感動です！授業すれば現職時代を思い出し、「＜先生＞をやっていて本当に良かったなあ」思えてきます。あんな小さな子ども達も、最後まで授業に集中して楽しんでくれましたから・・・。

＜科学の出前授業＞をすればするほど、「低学年（小さな子どもたち）から＜たのしい科学の実験＞を体験してもらうことの意味・価値！」を今まで以上に考えるようになりました。小さな子ども達は、純粋に哲学者になろうとします！なぜ？？どうして？と不思議を大切にしてくれるからです。だから、子ども時代にこそ！感動的な実験、授業！を体験させてあげたいと思います。「低学年から、たのしい科学実験！低学年から原子・分子の授業！」を、これからも大いに主張してゆきたいと思います。（音田輝元）

★5月はくもしも原子が見えたなら＞です。子ども達がどこまでたのしむのか？ドキドキです。